

FB

特集

葬祭事業者の 介護・看護事業への 取組み



貴社
記事掲載誌

総合エニコム



アルファクラブグループ8法人を表現する8つの波形ラインをデザインした祭壇。生花はアルファクラブ武蔵野と取引のある10社以上の生花会社から提供された

事業継承を印象づけた 互助会会長の社葬式

故 和田昌也 社葬式

さいたま市見沼区を本拠に互助会事業を展開するアルファクラブ武蔵野の会長、和田昌也氏が2015年2月9日に亡くなり、同社主催による社葬式が3月13日に営まれた。

東京生まれの故人は、大学を卒業した1963年、父・和田兼保氏が前年に創業したさがみ典礼(現アルファクラブ武蔵野)に入社した。72年6月、兼保氏の急逝に伴い社長に就任、12年から会長を務めていた。

会場は、JRと東武、埼玉新都市交通が乗り入れる大宮駅から車で約5分の自社会館「やすらぎホール大宮」。3階の大式場(160席)と、隣

接する小式場(86席)の間仕切りを取り払ってメイン会場とし、遺影のまわりにアルファクラブグループ8法人を表わす8つの波形ラインをあしらったダイナミックなデザインの白ギク祭壇が設営された。

多数の互助会関係者の参列が予想されたことから、2階会食室(144席)を業界関係者待合室とした。また同じ2階にメモリアルコーナーが設けられ、会葬者は展示された愛用品などに見入り、故人を偲んだ。

社葬式に合わせて、アルファクラブグループ8法人の葬祭会館と結婚式場(13か所)でも、社

【祭壇データ】

- 祭壇サイズ
間口17.0×高さ2.1×奥行3.0m
- 使用花材
スプレーギク6,000本、キク5,000本、カスミソウ600本、トルコギキョウ500本、ストック400本、フェニックス・ロベレニー200枚
- 制作時間
6人で24時間
- 遺影サイズ
幅111.5×高さ148.0cm

員のための献花式が無宗教でとり行なわれ、そのライブ映像が開式前や焼香中にメイン会場の祭壇両脇に吊るされたスクリーンに映し出された。スクリーンは、祭壇と干渉しあっても支障のないように、半透明のフィルムスクリーンを使用するなど、同社の先端技術が駆使された。

「故人の遺志をグループ職員全員で継承する」をコンセプトに、事前に綿密なりハーサルを行ない、当日はスムーズな運営に努めるなど、グループのさらなる飛躍を社内外に印象づけた社葬式となった。



開式前に行なわれた弦楽四重奏の生演奏



祭壇両脇にフィルムスクリーンが設けられ、別会場で行なわれている献花式の様子が生中継された



導師入場



葬儀委員長として開式の辞を述べるベルコグループ会長齋藤秀市氏



アルファクラブ武蔵野社長の神田成二氏らによる謝辞



焼香に並ぶ会葬者



3分割可能な2階会食室の間仕切りを取り払い、業界関係者控室として使用



2階に設けられたメモリアルコーナー



1階入口前には、故人愛用のゴルフウェアやゴルフバッグなどが展示された



会場となった「やすらぎホール大宮」

式次第

10:57 別会場追悼式放映	11:51 故人生前史映像
11:02 導師入場	11:58 弔電奉読
11:06 開式の辞	12:02 謝辞(葬儀委員長、親戚代表)
11:07 読経	12:16 焼香
11:23 弔辞(4人)	13:00 導師退場、閉式の辞

フェューネラル
レポート

- 日時
2015年3月13日(金)
11時00分～13時00分
- 場所
やすらぎホール大宮
(さいたま市大宮区)
- 故人名
和田昌也
(アルファクラブ武蔵野会長)
2015年2月9日死去(74歳)
- 式形態
仏式焼香方式
- 祭壇形式
生花祭壇
- 会葬者数
600人
- 主催者
アルファクラブ武蔵野
- 施行業者
アルファクラブ武蔵野
(さいたま市見沼区)